

2020年4月

外国語学部ポルトガル語専攻3年次生対象オリエンテーション資料

卒業論文（卒論）に関する注意事項

目次

1. 卒論執筆の標準的スケジュール
2. 卒業論文の執筆言語
3. 卒業論文の評価
4. 卒業論文の分野・指導教員の変更可能性について
5. その他

1. 卒論執筆の標準的スケジュール

3年次：指導教員と相談の上、テーマ設定、資料収集、テーマ関連文献・先行研究の分析等をすすめる。

3年次末：「卒業論文構想発表会」において卒業論文の枠組みを発表する。本文の執筆言語に関わらず、全員、日本語でレジюмеを作成し、発表をする。（2月に実施予定）

4年次（卒業年次）：指導教員と随時面談、指導を受けながら、テーマに応じた方法で調査、資料分析等を進め、執筆を行なう。

2. 卒業論文の執筆言語

- ・ 本文を日本語で執筆する場合、ポルトガル語の要旨を付する。本文をポルトガル語で執筆する場合、日本語の要旨を付する。
- ・ サルダニーニ先生、または、デゼン先生を指導教員とする場合、本文はポルトガル語、要旨は日本語に限られる。

3. 卒業論文の評価

主に次の5つを審査し、総合的に評価する。

- ① 卒業論文構想発表会での発表内容
- ② 卒業論文（本文）
- ③ 卒業論文（本文）に基づく試問
- ④ 卒業論文要旨
- ⑤ 卒業論文要旨に基づく試問

* 剽窃などの不正行為が確認された場合、卒業論文の単位は認定されない。

4. 卒業論文の分野・指導教員の変更可能性について

2年次に決定した卒業論文の分野・指導教員の変更は原則として認められないが、下記の(1)、(2)の要件を満たせば、例外的に認められる。

なお、変更の申し出は、3年次末を締め切りとする。

【変更のための要件】

- (1) 変更希望先の指導教員に、前もって受け入れが可能であるかどうか相談し、可能であるという回答をもらっておくこと。なお、各教員の受け入れ定員に達している場合には許可されない。
- (2) 変更希望先の分野において研究を進めており、成果が認められること。
なお、この成果については、レポートによって審査する。レポートの内容によっては、さらに面接が実施される場合がある。

提出するレポートについて：

新たに希望する分野において、どのようなテーマに興味を持ち、どのような授業を履修しつつ、積極的に学習・研究を進めてきたのか、さらに、変更が認められた場合、どのようなテーマで卒論を書く予定か、などについて、具体的に詳しく述べること。

分量は、1,800字から2,200字程度。

5. その他

- ・ アカデミックアドバイザーは卒論指導教員が兼ねるが、卒論指導教員がデゼン先生の学生にあっては、鳥居先生がアカデミックアドバイザーである。
- ・ 事務室へ提出する休学等の届出において、書類に専攻語代表教員、指導教員の署名・押印が必要な場合、本人、保護者の署名、押印を含むすべての項目を先に用紙に記入した上で、原則として提出期限の15日以上前までに専攻語代表教員、指導教員に署名、押印を依頼すること。